

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減活動として、井戸水を工業用水に活用して節水の効果を出す事ができました。 ・地域の自然環境との調和に配慮した海岸清掃を10年間継続して活動ができて持続可能な社会貢献となった。 ・社員一人ひとりが、省エネやリサイクルに関心を持ち、環境負荷低減活動を継続することでより良い社会が実現できると思います。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	<p>平成29年度の電気の使用量の削減、廃棄物の排出費の削減は、売上げ増加に比例して目標値もオーバーしてしまいました。「本来業務の作業改善の取組」ですが、昨年度も削減目標には到達しませんでした。</p> <p>今年度は、段階的に工場内灯光器のLED化を進めていく予定です。引き続き環境負荷の低減を目指し活動していく所存です。</p>
第19-0008号 ㈱ラテン大和	<p>水質汚濁を始め、様々な点についての「法令による基準」を再度確認し、自主管理基準の設定見直しを点検中です。</p> <p>推進部隊の結成により、社員の意識も向上してきています。</p>
第20-0001号 相鉄バス㈱ 綾瀬営業所	<p>平成29年度は、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バス11両（低公害・高燃費アイドリングストップ車）を、代替導入いたしました。また、全運転士に対して、お客様並びに環境へ配慮した優しい運転を心がけ燃費向上を図るよう教育を行いました。（対28年度▲0.41%）</p> <p>平成30年度は、最新のクリーンディーゼルエンジンへモーターを一体化させたハイブリッドバスの導入を検討しております。</p>
第20-0002号 ㈱メイコー	<p>平成29年度は、工程別・部署別の分別見本を作成し、従業員全員に環境意識を強く持ってもらうように取り組みました。また、一部照明のLED化を推進することができました。</p> <p>今後も新たな目標を立て、更に環境負荷の低減に努めていきたいと思いません。</p>
第20-0003号 ㈱東牧土木	<p>目標としている取組は、日常的になっています。</p> <p>今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p> <p>前年より、事務所の電球はLEDに交換しました。</p>
第20-0005号 ㈱青柳商店	<p>環境意識を持って、取り組めるよう努めました。</p> <p>今後できる事は、取り組んでいきたいと思っています。</p>
第20-0006号 ㈱山勝	<p>当社は、経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいます。</p> <p>今回も、前年同様電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となりました。これは、企業努力としての使用しないトラックの削減や、使用しない設備の除却などの企業努力と、社員の経費削減意識の高まりに起因するものと判断しています。</p>

<p>第20-0007号 株栄和産業</p>	<p>平成29年度は、軽油使用のフォークリフト車をバッテリー車に入れ替えました。温暖化ガスの二酸化炭素（CO₂）の排出が少なく環境改善につながるので、除々にフォークリフト全車両をバッテリー車に入れ替える計画を立てました。これからも身近なところから見直し、環境改善活動に社員全員で取り組んでいきたいと思ひます。</p>
<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>平成29年度は、焼却ゴミの中からの燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進し、結果、11,575 tを再生固形燃料として販売し利用されました。 また、環境負荷低減（地球温暖化対策等）の取組としては、最新規格の車両への切り替え、エコドライブやエコ操作は継続的に実施し効果を維持するとともに、大型車両の導入等による輸送効率の改善、工場部門では設備保全や原料バランス調整の工夫等で、生産性を維持、使用した電力や水は、原単位で効率的に運用することができました。 さらに、事務用什器類の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に継続して努めることができました。</p>
<p>第21-0001号 株KYOEI</p>	<p>平成29年度は、新たに工場屋根部全面に太陽光発電設備を設置し、エネルギー活用に取り組むことができました。また、使用済み用紙の裏面やその裏面を使用した後に裁断し、梱包用クッション材として使用し、極力廃棄しない活動が推進できました。 今後も活動を継続、推進し、環境への配慮向上に努めます。</p>
<p>第24-0004号 株あやせ電気</p>	<p>環境意識には常に注意しています。今回、取組の感想に当たり、出来ることからより多くの目標に挑戦したいと思ひます。</p>
<p>第24-0005号 有)中電社</p>	<p>平成29年度は「資源循環・有効利用」を重点課題として取り組みました。工場見学で発生する廃棄物の分別収集に注力し、日々の努力で廃棄物の資源化を推進しています。 また、LED化に伴い発生する水銀ランプ等の処理は、昨年10月の法改正を受け、委託処理業者と新規に契約を結び廃棄物の適正処理を遵守しております。LED照明導入にあたっては、従来どおり省エネソフトによるランニングコスト及びCO₂削減比較表でエネルギー効率の高い製品を提案しております。 今後も環境負荷低減に向けた提案を積極的に行ってまいります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>コピーの使用について、両面コピー以外に2枚を1枚に集約して印刷する事を推奨しております。 環境負荷の低減については、節電、節水、作業トラブル削減に取り組み、各部署で目標を設定し、目標達成に向けて行動しております。</p>
<p>第25-0001号 武田商事株</p>	<p>取組の中には事業活動と相反する事柄があり、これからの課題としたいです。 また、これまでの取組については、新たに入社した従業員からも色々な意見を取り入れ参考にしていきたいです。</p>
<p>第25-0002号 秋本食品株</p>	<p>当社は、食品製造会社のため食の安全を守る国際標準「HACCP」の義務化（2020年）に向け、更なる食品の安全・安心の向上に取り組んでおります。従いまして、ISO14001の認証を10年以上継続してまいりましたが、一定の成果並びに従業員個々の意識も環境への配慮が浸透したことから、ISO14001の認証を返上いたしました。社内的に環境負荷の低減に取り組んでおります。</p>

<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が、環境意識を持つことにより、少しでもエコにつながればと取り組みました。 設備面で難しい部分はありますが、これからもできることには取り組んでいきます。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>全面的な省エネタイプの設備導入には至っていないが、順次可能な所から交換をしていき環境負荷の低減を続けていきます。</p>
<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>目標を掲げる事で、個々の意識向上及び積極的に取り組むことが出来たと思います。 照明器具は、基本LED化を実施、さらにエリアごとの人感センサー設置等、適性管理に努めていきます。 今後も継続し、取組目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めていきます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>使用済み封筒の再利用や電子メディアを利用してワークフロー化を進めており、紙の使用量を抑制する取組を継続しています。 また、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入、エネルギー消費の少ない自販機を導入するなど、地球温暖化の抑制にも努めています。 今後も継続して、廃棄物の排出抑制や省エネ対策など環境に配慮した取組をより一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 工場の耐震補強を行った際に、照明をLEDに変更しました。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が、常に環境意識を持って取り組むことができました。 取組内容は、少なかったですが確実にできることから取組をしました。</p>

種別内容	目標内容	取組内容	内容番号	第19-0003号	第19-0005号	第19-0008号	第20-0001号	第20-0002号	第20-0003号	第20-0005号	第20-0006号	第20-0007号	第20-0008号	第21-0001号	第24-0004号	第24-0005号	第24-0006号	第25-0001号	第25-0002号	第25-0003号	第26-0006号	第26-0007号	第26-0008号	第26-0009号	第26-0010号
				㈱ワイ・ケー電子	㈱横浜製作所	㈱ラテン大和	㈱相鉄バス	㈱メイコー	(株)東牧土木	㈱南青柳商店	㈱山勝	㈱栄和産業	㈱タズミ	㈱KYOEI	㈱あやせ電気	㈱中電社	㈱かなしんオブセット	㈱武田商事㈱	㈱秋本食品㈱	㈱高産豚手造りハム	㈱明電ケミカル㈱相模原事業所	㈱アサヒコ	東ソー㈱東京研究センター	日本蛍光化学㈱	東急リネンサプライ㈱相模工場
廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理①	紙の使用量を抑制する。①	両面印刷、両面コピーを徹底する。	010101																						
		使用済み用紙の裏紙や使用済み封筒を再利用する。	010102			◎				◎														◎	
		電子メディアの利用等によりオフィス等のペーパーレス化を推進する。	010103			◎				◎														◎	
	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。②	使い捨て製品（紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当等）の使用や購入を抑制する。	010201															◎							◎
		リターナブル容器（ビニル瓶、二升瓶等）に入った製品を優先的に購入・使用する。	010202															◎							◎
		再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する。	010203															◎							◎
		コピー機、パソコン、プリンタ等よりリサイクルしやすい素材を使用しているものを使用する。	010204															◎							◎
		詰め替え可能な製品を利用したり備品の修理などにより、製品等の長期使用を進める。	010205															◎							◎
		包装・梱包（段ボール、魚箱等）の削減、再利用を進める。	010206															◎							◎
		製造段階で環境に影響を及ぼさない原材料を使用したり使用済み製品の回収・再利用を徹底するなどにより有害廃棄物の削減を進める。	010207															◎							
	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。③	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスを適正に設置するなどにより、ごみの分別を徹底する。	010301																◎					◎	
コピー機、プリンタのトナーカートリッジの回収とリサイクルを進める。		010302																◎						◎	
食べ残しや食品の残リは可能な限りコンポスト化（堆肥化）して利用する。		010303																							
包装・梱包等のリサイクル化を推進する。		010304																							
出荷・販売等に際しての梱包等に配慮する。④	簡易包装の推進、多重包装の見直し、量り売り、ばら売りの推進等により、包装紙、紙、容器、買ひ物袋、食品トレイ、ラップ等を削減する。	010401																							
	詰め替え式の容器・製品の販売促進に取り組む。	010402																							
	リターナブル容器入りの製品の販売促進に取り組む。	010403																							
紙バック、食品トレイ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル等の店頭回収・リサイクルを行う。	010404																								
生産工程におけるリサイクルに取り組む。⑤	製造工程から発生する金属屑、紙屑、廃液などの回収・再利用のための設備を設置し、活用する。	010501																							
② 環境製への負のサボり削減の少ない利用材	再生紙の使用を推進する。①	コピー用紙、コンピューター用紙、伝票・事務用箋等、印刷物・パンフレット、トイレットペーパー、名刺、その他の紙について、再生紙や環境に配慮した繊維への転換を進める。	020101																						
	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。②	エコマーク商品を優先的に購入する。	020201																						
		再生材料から作られた製品を優先的に購入し、使用する。	020202																						
		副産物、未利用資源等を利用した製品を積極的に購入し、使用する。	020203																						
		木材の調達に当たり、伐採跡地の緑化・植林・環境修復が適切に行われていることを確認したり森林の緑化等に協力する。	020204																						
	その他、無害白製品（衣料品等）、水性塗料等の環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用する。	020205																							
の輸送に削減に配慮する。①	③ 自動車等の購入・選択に当たって環境に配慮する。①	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車への代替を進める。	030101																						
	② 自動車の使用に当たって環境に配慮する。②	資材搬入口において、騒音・粉塵対策、渋滞防止等の環境対策を行う。	030201																						
	③ 車の排出ガスに含まれる有害物質等の量を削減する。③	新技術を活用した車検などを行い、排ガスに含まれる二酸化炭素や窒素化合物、炭化水素などの量を少なくすることに取り組む。	030301																						
省資源等④	雨水等を再利用し環境に配慮する。①	雨水の貯留タンクや雨水利用施設等を設置し、雨水利用を積極的に行う。	040101	◎																					
	節水等を行い環境に配慮する。②	汚排水の再利用（中水利用）を行う。	040102																						
		節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的に購入する。	040201																						
		トイレに「水流し音発生器」をつけるなどにより、トイレ用水を節約する。	040202																						
	蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置する。	040203																							
建築物の建築・解体	新規事業を始める際の環境影響評価・環境配慮を行う。①	新規事業を始める際、企画・計画・設計、建設、運用、改修・解体のそれぞれの段階において環境影響評価を行い、これに基づいて環境保全のため適切な対策を行う。	050101																						
	環境整備と周辺との自然環境の保全に配慮する。②	事業実施前に行われた環境影響評価の結果が妥当であったかどうかのフォローアップを事業中及び事業後に行う。	050102																						
		発注者及び設計者に対し、建設副産物のリサイクル、合板型枠の使用合理化等、環境保全の啓蒙を行う。	050103																						
	環境整備と周辺との自然環境の保全に配慮する。③	敷地内、壁面、屋上等の緑化を実施する。	050201																						
		地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全に取り組む。	050202	◎																					
		環境を改善する代替措置として環境修復（ミディゲーション）を計画・設計に盛り込む。	050203																						
		雨水を地下浸透させる設備（浸透井等）の導入や屋外駐車場等で雨水が地下浸透できるための工夫等を行う。	050204																						
	環境負荷の少ない建築材の使用等を推進する。④	建築物の建築・改修に当たり、環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用の最適化に取り組む。	050301																						
		建築副産物の再利用、リサイクルに取り組む。	050302																						
		木材、コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組む。	050303																						
建築物、構築物の環境への影響を予防するための対策を講じる。④	建造物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直し等の提案を行う。	050401																							
	建築物の耐久性の向上に取り組む。	050402																							
施設閉鎖、建築物の解体等の際に環境に配慮する。⑤	施設の閉鎖時に、環境影響評価を行う。	050601																							
	現状から用途転換をする等の計画プロジェクトの前に環境影響評価を行う。	050602																							
⑥ 大気汚染等の防止	大気汚染物の排出量を削減する。①	大気汚染の少ないプロセス・機器（低NOx燃焼機器など）を採用する。	060101																						
		大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努める。	060102																						
	水質汚濁等の防止	ばい煙等の測定・監視を定期的に行う。	060103																						
		事故や災害の際の汚染防止対策の手順を定め、必要な訓練等を行う。	060104	◎																					
化学物質の管理を徹底する。④	水質汚濁の少ないプロセス・機器（廃液の回収・再利用など）を採用する。	060201																							
	水質汚濁等について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努める。	060202																							
	夜間照明による光害を防止するための対策を講じる。	060301																							
	塩素系有機溶剤等の削減、代替物質への転換に取り組む。	060401																							
	燃料油や溶剤等の揮発の防止に取り組む。	060402																							
	屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減、合理化等に取り組む。	060403																							
⑦ 製品開発・設計等	製品（プライベートブランド商品を含む）設計に当たって環境に配慮する。①	製品の小形化等により、同一機能を維持しながら資源使用量のミニマム化（軽量化）に取り組む。	070101																						
		製品の長寿命化に取り組む。	070102																						
		製品の使用過程で消費されるエネルギーの削減に取り組む。	070103																						
		再生資源の積極的利用に取り組む。	070104																						
		廃棄物の発生抑制のため、適正なモデルチェンジを実施するようとする。	070105																						
		製品の包装は可能な限り簡素化する。	070106																						

種別内容	目標内容	取組内容	内容番号	第19-0003号	第19-0005号	第19-0008号	第20-0001号	第20-0002号	第20-0003号	第20-0005号	第20-0006号	第20-0007号	第20-0008号	第21-0001号	第24-0004号	第24-0005号	第24-0006号	第25-0001号	第25-0002号	第25-0003号	第26-0006号	第26-0007号	第26-0008号	第26-0009号	第26-0010号		
				㈱ワイ・ケー電子	㈱横浜製作所	㈱ラテン大和	㈱相鉄バス	㈱メイコー	(株)東牧土木	㈱南青柳商店	㈱山勝	㈱栄和産業	㈱タズミ	㈱KYOEI	㈱あやせ電気	㈱中電社	㈱かなしんオブセット	㈱武田商事㈱	㈱秋本食品㈱	㈱高産豚手造りハム	㈱明電ケミカル㈱相模原事業所	㈱アサヒコ	東ソー㈱東京研究センター	日本道光化学㈱	東急リネンサプライ㈱相模工場		
における環境負荷を削減する。②	製品の再生素材の削減や、ネジの数を減らすことなどにより解体しやすい構造にする。自社独自の環境保全型商品等の開発に積極的に取り組む。	製品の再生素材の削減や、ネジの数を減らすことなどにより解体しやすい構造にする。自社独自の環境保全型商品等の開発に積極的に取り組む。	070107																								
		修理部品の長期的な確保に自主的に取り組む。	070201																								
		使用後の製品の引き取りを行う。	070202																								
		製品（プライベートブランド商品を含む）に係る製品アセスメント（詳細）等を実施する。③	070301	自社製品及び社外から購入する部品等について、想定されている環境負荷のチェックリストを作成する。	070302																						
環境保全型商品等の販売、消費者に対する情報提供を行う。④	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省資源・省エネルギー型の商品、容器包装を簡素化した商品、エコマーク製品等を重点的に販売する。上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組む。販売の際に環境保全型商品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行う。消費者等に環境保全型商品に関する情報を積極的に提供する。	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省資源・省エネルギー型の商品、容器包装を簡素化した商品、エコマーク製品等を重点的に販売する。	070401																								
		上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組む。	070402																								
		販売の際に環境保全型商品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行う。	070403																								
		消費者等に環境保全型商品に関する情報を積極的に提供する。	070404																								
地球温暖化防止対策等⑤	照明設備を適正管理する。①	照明点灯箇所を減らす。	080101																								
		ワイドアップの時間を短縮したり、間引き消灯をする。	080102																								
		照明器具は逐次省電力型に交換する。	080103																								
		室内とデスクでの照明を使い分ける。	080104																								
		トイレなどはセンサー式の照明にする。	080105																								
		昼休みは、一斉消灯、残業時は部分点灯とする。	080106																								
		非常口に高輝度誘導灯（※下記参照）を導入する。	080107																								
		自然光に配慮した照明器具の設置をする。	080108																								
		トイレ、廊下、階段などで自然光を取り入れる。	080109																								
		エリアに配慮したスイッチ回路にする。	080110																								
		電気の使用量を把握し、削減する。	080111																								
事務機器を適正管理する。②	複写機を適正管理する。③	節電、待機モードへ切り替える。	080201																								
		複写台設置されているエレベーターでは、利用者の状況や用途に応じて開閉調整を行う。	080301																								
		高度制御装置を導入する。	080302																								
		自動販売機を適正利用する。④	080401	エネルギー消費の少ない自動販売機（ピークカット機能付き）を導入、更新する。	080402																						
冷暖房設備等を適正管理する。⑤	空調設備を適正管理する。⑥	自動販売機の蛍光灯の消灯に努める。	080403																								
		温度設定は夏期28℃、冬期19℃を目安とする。	080501																								
		夏期はブラインドを利用、冬期は太陽光を取り入れ、不要な冷暖房の使用を控える。	080502																								
給湯設備を適正利用する。⑦	ボイラーを適正利用する。⑧	ヒートポンプシステムを導入する。	080503																								
		空調機器を定期的に補修点検する。	080601																								
		省エネルギー型空調設備を導入する。	080602																								
		蓄熱式空調システム（※下記参照）を導入する。	080603																								
		給湯器へエコマイザーを導入する。	080701																								
		蓄熱回収型温水ボイラー（※下記参照）を導入する。	080702																								
		太陽熱温水器を導入する。	080703																								
ボイラーの低空気比燃焼等により、熱管理を徹底する。	080801																										
地球温暖化防止対策等⑧	省エネ設備等を採用又は改修する。⑨	ガス使用量を把握し、削減する。	080704																								
		ボイラーの燃熱を利用する。	080802																								
		LNG等CO2発生量の少ない燃料に転換する。	080807																								
		重油使用量を把握し、適正に管理する。	080808																								
		アイドリングストップを実践する。	080901																								
		使用台数を減らす。	080902																								
		使用抑制目を設定する。	080903																								
		走行ルート合理化する。	080904																								
		買換えの際には低公害車、低燃費車を導入する。	080905																								
		強いエンジン等を低公害化する。	080906																								
省エネ対応製品等を購入又は更新する。⑩	自然エネルギーを活用又は新システム等を導入する。⑪	アイドリングストップアンドスタート装置のついたバスを導入する。	080907																								
		ガソリンの使用量を把握し、削減する。	080908																								
		灯油、LPG、LNG、都市ガス、重油を燃料としている燃料設備をエネルギー消費効率のよいものに改修する。	081001																								
		複層ガラス、熱反射ガラスを採用する。	081002																								
		電力平準化設備を採用する。	081003																								
		深夜電力利用機器を導入する。	081101																								
		水蓄熱システムを導入する。	081102																								
		部品の交換修理が可能な製品や保守・修理サービス期間の長い製品、機能拡張の多い製品を購入する。	081103																								
		エネルギー消費効率の高い製品を導入、更新する。	081104																								
		適正規模の機器を選択する。	081105																								
特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。⑫	自然エネルギーを適正管理する。⑬	太陽光発電等を導入する。	081201																								
		ガスエンジン発電機や燃料電池エンジン発電機を導入する。	081202																								
		ビルのエネルギー管理システムを導入する。	081203																								
		生産用フロン、冷却設備・空調設備の冷媒用フロンの削減又は全廃、ハロン消火設備等の代替又は全廃を行う。	081301																								
		特定フロンの回収・適正処理に取り組む。	081302																								
		製造工程において、HFC、PFC、SF6をどれだけ使用し漏出しているかを把握し回収処理に取り組む。	081303																								
		製造工程において可能な範囲でHFC、PFC、SF6をその他の物質に代替する。	081304																								
		HFC、PFC、SF6を使用しない製造工程に変換する。	081305																								
		製造購入の際には、できるだけHFC、PFC、SF6を使用していない製品を選ぶように配慮する。	081306																								
HFC、PFC、SF6を使用している製品を廃棄する際の回収に取り組む。	081307																										
非フロン系エナジール製品を購入する。	081308																										
代替フロンを回収、再利用、破壊する。	081309																										